

各 位

会 社 名 株式会社 JVC ケンウッド
 代表者名 代表取締役社長 兼 COO 江口 祥一郎
 (コード番号 6632 東証第一部)
 問合せ先 取締役 兼 CSO 田村 誠一
 (TEL 045-444-5232)

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当第 3 四半期以降の業績動向や為替動向をふまえ、以下のとおり、平成 25 年 5 月 15 日に公表しました平成 26 年 3 月期通期連結業績予想を修正することとし、また、これをふまえて、平成 25 年 4 月 26 日に公表しました平成 26 年 3 月期配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結 当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 5 月 15 日発表)	330,000	11,000	6,000	3,000	円 銭 21 63
今回修正予想 (B)	310,000	1,000	△3,000	△5,500	円 銭 △39 66
増 減 額 (B-A)	△20,000	△10,000	△9,000	△8,500	
増 減 率 (%)	△6.1	△90.9	—	—	
(参考) 前期実績	306,580	9,603	3,106	1,146	円 銭 8 27

(2) 通期連結業績予想修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間は、カーエレクトロニクスセグメント及びプロフェッショナルシステムセグメントが増収となったものの、欧州経済低迷や商品絞り込みの影響などによる光学&オーディオセグメントの減収に加え、ソフト&エンターテインメントセグメントが主力作品の下期への発売延期などから減収となったことにより、売上高は想定を下回りました。

また、営業利益は、対米ドルの円安によって円換算原価が大幅に上昇し、カーエレクトロニクスセグメントや光学&オーディオセグメントのイメージング事業などが国内事業で大幅な赤字となり、海外もカーエレクトロニクスセグメントの市販事業、イメージング事業ほかの販売が不振となった上、ソフト&エンターテインメントセグメントも主力作品の発売が下期に延期となったことなどから全セグメントが減益となり、想定を下回りました。

第 3 四半期連結会計期間以降は、短期施策として、対米ドルの円安により収益率の低い平成 25 年モデルの終息を早め、第 3 四半期連結会計期間で終了させ、対米ドルの円安に対応した次期モデルの投入を繰り上げ、事業再建タスクフォースによる構造改革を強力に推進しますが、引き続き厳しい経営環境が続くことが想定されることから、平成 25 年 5 月 15 日に公表しました平成 26 年 3 月期通期連結業績予想を修正することといたしました。

なお、構造改革の規模や実施時期は現在精査中であり、今回お知らせする連結業績予想数値には、構造改革に伴う一時的な損失等を含んでおりません。

2. 配当予想の修正

(1) 1株当たり配当予想額

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
前回発表予想 (平成25年4月26日発表)	—	—	—	円 銭 5 00	円 銭 5 00
今回修正予想	/	/	—	円 銭 0 00	円 銭 0 00
当期実績	—	円 銭 0 00	/	/	/
(参考) 前期実績	—	円 銭 0 00	—	円 銭 5 00	円 銭 5 00

(2) 配当予想の理由

当社では、安定的に利益還元を行うことが経営上の最重要課題の一つと考え、収益力および財務状況を総合的に考慮して剰余金の配当およびその他処分などを決定することとしております。

平成26年3月期配当予想につきましては、年間配当予想額を1株当たり5円（期末配当金）としておりましたが、前記の通期連結業績予想の修正をふまえて、年間配当予想額を1株当たり0円（期末配当金）に修正させていただきます。

以 上